



シルバーだより

No. 283

平成 26 年 1 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

— 心に残る贈りもの —

名誉学長 原田 治子

新年おめでとうございます。心の通ったあたたかい手をしっかり繋ぎ、今年も一日一日を『ていねいに』生きていきましょう。

出逢いそして感動 人間を動かし人間を変えてゆくものは 必ずかしい
理論や理屈じゃあないんだなあ 感動が人間を動かし 出逢いが人間
を変えてゆくんだなあ・・・。(相田みつを詩集より)

この詩の通り、私たちは荒川シルバー大学を選んだからこそ、出逢い、感動、生きる喜び、向上していく自分をこの年齢になっても噛みしめることができるのでしょう。



片道切符の有効期限が気になったり、ボケというお友達がいつ訪れるかもしれないので、最近はやせと身辺整理をはじめています。衣類・装飾品・食器類・書籍・古い日記や手紙…。作業が進むにつれて、「欲深きもの人間、よくもこんなに不要なものをかき集め残しておいたもんだ」と自戒しきり。

さて、写真の部に入った時、年齢を重ねるほど別れ多きことに寂しさを覚えながらも、1枚1枚の写真が過ぎし日の原風景に私を案内してくれました。そして、心の深い所で再認識したのは、この世に残るもの、人の心に生きるものは「かたちあるもの」ではなく「無形のもの」だということです。貧困、人からの裏切り。悲しい別れ、挫折…。これらの暗雲から救い出してくれたのはこの人達だった。写真の中のあの人の言葉、あの人の行為が昨日のこのように蘇ってきました。いただいた心に残る無形の贈り物は、私の人格形成にまで及んでいると思います。

昨年11月、Tさんの息子のお嫁さんから届いたはがきと電話での話。「義母はここ数年車椅子や寝たきりの生活でしたが、心は豊かでした。シルバー大学で原田先生や優しく思いやりのある友人と出逢ったこと。自分史を思う存分書き続けたことなど誇らしく楽しげに話していました。これらの思い出を宝物にして、1カ月ほど安らかに眠り続けたあと、赤ちゃんのような顔で永眠しました」荒川シルバー大学は、心に残る無形の宝物を贈り合えるところだと私は確信しています。

今年も良い年になりますよう、役員一同頑張りますので宜しくお願いします。

平成26年度 役員一覽

	理事長 岡田 芳子	名誉学長 原田 治子	
	学 長 望月 公子	副学長 木村 國子	事務局室長 田原 弘子
常任理事 ①	副理事長 後藤八重子(厚)	宮澤 健一(企)	講)石崎 恵子(企)
	事務局長 瀧澤百合子(総)	東日暮里地区長 山岸 知子	書記 立川 禮子(企)
	副事務局長 山口 俊章(総)	西日暮里地区長 島山 英子(厚)	講)高橋 建可
	会計 江川 芳江	南千住地区長 伊東千代子 ③	企画部 嶋戸由美子
	会計 伊藤 慶子	荒川地区長 藤原 晃(施)	厚生部 兼杉つぎ子
	会計 岩崎 芳民(施)	町屋地区長 瀧口 和彦 ②	広報部長 佐藤 恒子
		東尾久地区長 山本 菊枝	広報部 井口 和子
		西尾久地区長 熊川 京子	広報部 高山 順子
		西尾久地区長代行 石塚美江子 ②	

	相 談 役 福川 君江	会計監査 新井 義三② ③	雨宮マサ子
理 事	地区・班長	1. 山口 俊章(総) 11. 西澤 節子 21. 武田 映 31. 湯本イクヨ 41. 小北 好子 ③	
	・東日暮里 1～	2. 小林由美子 12. 鶴岡 恵子 22. 木塚 順夫 32. 瀧口 和彦 ① 42. 小島晋美子	
	・西日暮里 8～	3. 石川 渡江 13. 中島 英子 23. 入山 勝子 33. 足立 房子 43. 新井 義三 ③	
	・南千住 14～	4. 佐藤 啓子 14. 石井みよ子 24. 竹内 陽子 34. 山泉 昭子 44. 高田 敏江	
	・荒川 22～	5. 太田諺訪子 ③ 15. 高木 信子 25. 野村 英毅 35. 布川 春江 45. 石塚美江子	
	・町屋 30～	6. 尾島ゆう子 ① 16. 庭野 美枝 26. 落合 静子 36. 塚野 明子(専) 46. 石山つめよ	
	・東尾久 36～	7. 鈴木あや子 17. 大工原仁子 27. 佐藤 ひで ③ 37. 石井 久子 47. 岡野 光子	
	・西尾久 42～	8. 松澤 芳子 18. 島海 幸枝 28. 藤原 公子 38. 今井智枝子	
	地区・副班長	9. 田畑 一枝 19. 小磯 教子 ③ 29. 西野喜美代 39. 後藤 王子	
		10. 阿部 成子(専) 20. 土肥 絹江 30. 松本 光章 40. 中村美妙子	
	20. 榎本 節子 ③ 27. 佐藤エツコ 28. 山田 紀子 29. 清水 仁美 32. 森 秀太郎		
	34. 徳岡喜代子		
	教室代表(月)	気 功・午前 46. 中沢 玉枝 教室代表(水)	写 真 23. 細田 金義
	気 功・午後 26. 大久保淑江	料 理 39. 後藤 王子 ②	
	硬 筆 27. 佐藤 ひで ②	教室代表(木)	絵手紙 A 29. 宮向井芳江
	水彩画・午前 25. 野村 英毅 ②	絵手紙 B 2. 丸山 文子	
	水彩画・午後 28. 藤原 晃 ①	おしゃれニット木	4. 柳原 雅子
	水 墨 画 23. 矢ヶ部昭彦	華 道 13. 中根 光子	
	パソコン・初級 28. 柴田 健次	健康体操 9. 増山美代子	
	フラ・ダンス 19. 小磯 教子 ②	俳 句 29. 白井 佳子	
	歌声クラブ 27. 小林 潤也	朗 読・午前 17. 辻原 貞子	
	③ 自分史 42. 篠沢 欣子	朗 読・午後 20. 榎本 節子 ②	
	書道・火曜 1. 山口 俊章(総)	輪踊り民舞 20. 丸田 陽子	
	陶 芸 17. 佐久間功子	教室代表(金)	今と昔の町歩き 22. 酒井 倫夫
	日本の話芸 47. 鷲坂 善孝	英 語 33. 濱 妙子	
	パソコン・中級 46. 寺澤 武	おしゃれニット金 13. 五十嵐睦子	
	パソコン・上級 34. 松尾 直江	茶 道 20. 千葉まち子	
	頭の体操 34. 関 夏子	書 道・金曜 25. 高野宗四郎	
	教室代表(水)	絵本と伝承遊び 41. 小北 好子 ②	バスレル・絵の具画 5. 太田諺訪子 ②
	自然と小さな旅 17. 伊東千代子 ①	教室代表(土)	音 楽 26. 井上 房子
	社会科見学 29. 高橋 武三		
④	事務局 45. 鈴木 菊枝(様)		

役員職務分担

事務局	室 長 田原 弘子	局 長 瀧澤百合子	副局長 山口 俊章
	事務局員 (設 営) 佐藤 昭 (接 待) 塚野 明子	(管 理) 鈴木 菊枝	金久保芳夫 岩崎 芳民 阿部 成子
	部 長	副 部 長	地 区 長
総務部	瀧澤 百合子	山口 俊章	東日暮里地区長 山岸 知子
企画部	宮澤 健一	石崎 恵子	西日暮里地区長 島山 英子
厚生部	後藤 八重子	兼杉つぎ子	南千住地区長 伊東千代子
施設部	藤原 晃	佐藤 昭	荒川地区長 藤原 晃
広報部	佐藤 恒子	井口 和子	町屋地区長 瀧口 和彦
		立川 禮子	東尾久地区長 山本 菊枝
		嶋戸由美子	西尾久地区長 熊川 京子
		岩崎 芳民	西尾久地区長代行 石塚美江子

住所：荒川区荒川3-49-1 生涯学習センター内

電話 (3801) 5740



荒川シルバー大学創立30周年の祝賀会

シルバー大学創立30周年おめでとうございます。

一口に30年。過ぎてしまえば早いけど、今の様に段々成長して行く事は、大変な努力だと思う。シルバー大学が出来た翌年、私は近所の友人に誘われて、入学希望の電話をしたのが、初代理事長の水越清次様だった。

お元気に私の家迄自転車に来てくださった。話し好きで約3時間位、シルバー大学を創った話や、自分は戦争犯罪人だった事等、私は立派な人なんだなあーと思って聞いた。

初めは学生の人数も教室も少なく、只講演は毎月あって、入学して2年目に班長になった私は、自営業の家の仕事もこなさなければならず忙しくて困った。当時事務所は、南千住の町田武彦氏のビルだったが、私も若かったせいか自転車で行った。其のうち真土小学校になった。宮地からちょっと奥に入るので足の悪い人は通うのが大変と言う人も居た。

原田先生の「自分史教室」が出来て広々とした部屋で、その真ん中にテーブルを並べて学んだ。初めの申込みは21人居たが、実際に参加したのは18人になった。学生は東日暮里や他の地域の人が多く、西尾久の私は知り合いがなく、何となく肩身のせまい思いだった。そして班長を定める時、山崎さんが、「私がやりましょう。」と言って引き受けてくれた。あれから21年。

今こんな立派な大学になって、秋山先生が「日本一だ。」と言われたのを覚えている。11月の30周年のお祝い、先生、又高橋建司様役員の方々のお骨折りで出席者198名の、立派な祝賀会が出来た事は感無量だった。私は最後にご挨拶をと呼ばれたが、急の事で緊張して初めと終わりは言った事覚えているが、中間は何を言ったか判らないで恥ずかしい限り。只、私はお祝いの前日が誕生日で93歳になった。

こんな歳をとって素晴らしい立派な記念すべき30周年の祝賀会に出られて、本当に幸せだと思いました。

シルバー大学に入ったおかげで多数の皆様との出会いがあり、本当に楽しく充実した生活を送る事が出来て感謝です。ありがとうございました。

副理事長 後藤八重子



自然と小さな旅教室

講師 稲川 君江

今回で11回目の苔玉展でした。今年の作品は、全体的に材料をたっぷり使用したのでボリューム感があり見応えがありましたが、それにともないやや所狭しという感じでした。作品にとって空間も重要な要素であると感じました。

今年は材料迄自分で揃えて作品作りをした人が多くなり「自分の作品を作ろう」という意欲が見え実質的には大きな進歩でした。旅の写真展示は参加した人達の輝いた笑顔が30周年を祝っているかの様でした。



絵手紙B教室 ～初めての学園祭～

講師 塚田 義介

今年から「絵手紙教室」を担当することになり、初めての学園祭でした。やはり皆様の評判が気になるものです。幸い、好評で嬉しく思いました。もちろん、それは、絵手紙教室の生徒さんの作品が素晴らしかったことを意味しています。絵手紙教室のモットーは、「輝く個性」です。どの作品も伸び伸びと描かれて、個性豊かで、生き生きと輝いていました。また、また展示に目を向けると、絵手紙Aと絵手紙Bの作品が仲良く一緒に並んでいることが素晴らしい効果を生んでいると思えました。皆さんの鑑賞している姿にも、とても温かい雰囲気を感じました。最後に、会場設営に携わった方々のご苦勞に感謝申し上げます。今年の展示用パネルは、高さ枚数とも、適切で生徒さん達が一斉に、テキパキと飾り付け出来たので、仕事も早く終わりました。

写真教室

講師 戸叶 恒夫

写真教室として2回目の学園祭でした。学級代表を中心に各班長さんの協力の下取り組ました。展示ボードが一枚増え、来覧者からも「見やすくなった」との感想をいただきました。

教室として最もうれしかった事は、学級全員の作品が展示できたことです。作品を選んだり、題名を考えたりと苦勞していましたが、自分で考え苦しむことが大切なのです。力量の差はあって当然です。でもシャッターチャンスは公平です。これからも自分の写真撮影を楽しみたいものです。

書道・火曜教室

講師 大友 悦子

台風予報で、お天気が心配されましたが、無事に行事が行われましたので、安心いたしました。各自、作品づくりを、最期まで、熱心に頑張っておりました。展示する作業の準備も大変でしたが、搬出時に皆さんが来て下さり、笑顔が印象的でした。搬入、展示を手伝って頂いた係りと代表の皆さん、お疲れ様でした。

「みんな頭いいわねエ」。あいうえお作文を読んでいた方の感想です。日常生活や毎日見ている風景、そして日本経済に至るまで、色々なことを題材に、心に響く作品が並んでいました。じっくりと読んで味わって頂けましたでしょうか。体験コーナーでの点つなぎとピラミッド計算も好評で、皆様が10歳若返るお手伝いのできたのではないかと喜んでおります。

来年もまた若返りましょう。

去年、招待客として見学させていただいた時もそうでしたが、会場に入るとまず皆さんの熱気に圧倒されてしまいました。日頃の学習の成果の発表の場を得て、生き生きと心からこのお祭りを楽しんでいる事が、伝わって来ました。展示作品やお茶会の素晴らしさももちろんですが、元気にいそいそと参加している人達に時に、少年や少女のような含みの表情も垣間見えて清しく思いました。創立30周年記念学園祭、大成功と思いました。

30周年という節目の年の学園祭が無事終了しました。今年は、パソコンのブースが移動し、ホールの中になりました。今までに比べ、広いスペースであるうえ、明るいので、大変好評だったようです。

作品は、年々レベルが上がっているという評価をいただいておりますが、今年も素晴らしい作品をたくさん作っていただき、素晴らしい展示ができました。

来年度は、「ホール」という会場の特徴を生かした出展が出できればよいと考えています。

勤労感謝の日に思う

戦後生まれの祝日、勤労感謝の日は戦前の新嘗祭に由来する。と新聞に載っているのが目に止まった。そうだ此の日の農家は新米を炊いて、田畑の神様にお供え物をし、感謝していた事を思い出した。農家にとっては大切な日。

此の日の母は一日中大忙し。先ず神棚を掃除して、鍋釜も自家製のたわしに木炭をつけて、ピカピカになるまで磨いてた。現在のような便利な洗剤などありません。流しの側には灰の入った箱が置いてありました。

夕方になると何時もは七輪で魚を焼くのに、此の日は囲炉裏に大きな炭を興して、串にさした子持ちハタハタをぐるりと立て、焼き上がると、田楽味噌を丁寧めにぬって、片側に寄せ又次の串をさす。部屋中が香ばしい香りがして、食事が待たれた。魚と畑から取れた物の煮物、そして菊の花の酢の物。



お膳に座ると父が「今年も有難うございました。と云う。やっと食べる事が出来ました。

ごく普通の食事風景にも食物に対しての躰があったように思います。そして働く事への日本的な感謝の美しい表し方があったと思います。食べる物でも季節の移り変わりがわかった。でも今はどうでしょう。季節を問わず、溢れる程の食材・レシピ、幸せなのでしょう。

あと何日であれが食べられる、と指を折って待った頃を懐かしく思い出させる勤労感謝の日でした。
広報部 佐藤 恒子

◆◆◆ 12月の学園日誌 ◆◆◆

3日	常任理事会・役員会	19日	26年度募集要項・申込書他作成
17日	26年ふれあい館使用申請書提出	19日	26年度募集区報掲載申請提出
17日	26年区特例措置依頼書提出	27日	シルバーだより283号作成

※ 事務局だより ※

1. 平成26年度受講生募集について

募集受付期日

2月7日(金) = 自然と小さな旅・今と昔の町歩き・社会科見学の3科目のみ

2月10日(月) ~ 21日(金) (土・日・祝日=休み) = 上記の科目以外すべて

・新入学申込書・継続申込書・募集要項 につきましては、1月10日過ぎに各地区班長・副班長の方々が皆さんのご自宅へ配付致します。

平成26年度の開講教室

(月) ◎水彩画・水墨画・パソコン初級/ 硬筆・フラダンス

(火) 歌声クラブ・◎書道火・◎陶芸・パソコン中級・上級 / 自分史・日本の話芸

(水) 社会科見学・料理 / 頭の体操・絵本と伝承遊び・自然と小さな旅・写真

(木) 華道・◎朗読・輪踊り民舞 / 絵手紙A,B・おしゃれニット木曜・俳句・

健康体操

(金) 英語・おしゃれニット金曜・◎気功・◎茶道・書道金/ 今と昔の町歩き

・「パステル・絵の具画」 ※茶道教室(金)=月一度 午前午後を通しての授業

(土) 音楽 /

2. 講師会について

1月22日(水) 時間：午後1時より

会場：センター内 第一会議室

(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原

